



圏央道常総インターチェンジ周辺整備事業について問う
遠藤 章江議員

これでいいのかプロポーザル方式

議員

入札というのは透明性、競争性が大事である。本年プロポーザル方式で戸田建設株式会社と契約に至ったが、選定方法としては「公募をして企業4社を選び、そこから1社を選ぶ」となっている。なぜその方法に逆らって1社でも契約したのか。

産業拠点整備課長

5社以上来た場合、1日にヒアリングできるのは4社と考え、選定基準を定めたが、大変リスクのある計画で、なかなか手を挙げてくれる業者がないのではないかとということでも1社でもプロポーザルを実施するというガイドラインを定め実施した。

議員

大手から電話の問い合わせがあっても、いざ参入するとなると二の足を踏む。1社しか来なければサポート（コンサルタント）の計画に魅力がないということ、公募し直すのが通常のやり方ではないか。また基本計画をつくったコンサルがどこの業者を連れてくるというのは、

一般競争入札
公募型の価格競争による入札方式。予定価格500万円以上の建設工事のみが対象。
指名競争入札
発注金額・専門性のある業種により実績等をもとに業者を指名する入札方式。
プロポーザル方式
随意契約の一種で、価格だけではなく企業、技術力等を評価して業者を特定するもの。担当課で要綱を作成し、選考基準を定め実施している。

(常総市)

都市建設部長

コンサルが計画立案し、それを大手ゼネコン等に話を振って、事業協力者を見つけているというのは現在の手法である。裏取引などは一切ないと思っている。

議員

今までのように随意契約を重ねたり、プロポーザルの名のもとで何年も同じ会社が契約を継続していく、そんなことをやっていたのでは、市民は黙っていない。ただ契約してしまっただけで、どんどん進めてもらいたい。議会としても協力していく。

平成26年常総市議会

8月定例会議

審議結果

平成26年常総市議会（8月定例会議）が、8月27日から9月16日までの21日間の日程で開かれまして。

今定例会議では、一般会計補正予算を含む議案9件および決算認定9件を市長が提案。初日の本会議で上程・提案理由の説明があり、議案等は各常任委員会および予算・決算特別委員会に付託され、各委員会において詳細に審議がなされました。

最終日には市長から人事案件2件、議員提案による議案4件が提案され、採決の結果、議案12件、認定9件、人事案件2件が原案のとおり可決・認定・同意・推薦され、1件が否決されました。請願2件は1件が採択、1件が不採択となり、陳情1件が趣旨採択となりました。

その他、議員提案による議案1件、各種委員の推薦1件、議会運営委員会委員の選任1件が原案のとおり可決・推薦・選任されました。

可決された主な議案は次のとおりです。

認定第1号

平成25年度常総市一般会計歳入歳出決算認定について

平成25年度一般会計決算は、258億5881万7777円の収入済額に対し、支出済額は、246億6667万1373円。差引残額11億9214万6404円から繰越明許費等4億2522万9000円を引いた7億6691万7404円を平成26年度に繰り越しました。

認定第2号から8号

特別会計歳入歳出決算認定について

特別会計は、一般会計と切り離して、特定の事業ごとに運営する独立した会計です。国民健康保険特別会計等の7つがあります。

認定第9号

水道事業会計歳入歳出決算認定について

水道会計は、地方公営企業法の適用を受ける企業会計です。その年度の損益を明らかにするための「収益的収支」と施設の整備などに充てる「資本的収支」の2つに分かれています。

※決算の詳細については、広報11月号をご覧ください。